



Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会
■発行日／毎月5日
■発行部数／40万部
■発行エリア／横浜市内全域
■制作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0023
横浜市中区山下町51-1
読売横浜ビル8F

http://yokohama-yomiuri.co.jp

音楽 落語 演劇・舞台

チケットのお求めは7面へ

限定特価、先行発売、お見逃しなく！



ヨコハマ♡想い vol.63



ファッションブロガー
ムッコ
muccoさん

1969年生まれ。横浜市在住。AFP2級ファイナンシャル・プランニング技能士。ブログ「ケチケチ贅沢日記」運営。2007年8月にスタートした「ケチケチ贅沢日記」は月間100万PVを誇る人気ブログに。現在はパーソナルスタイリングもできるFPとして、オンラインサロン「ケチケチ贅沢でバラ色人生研究所」で「着ることのお悩み」を解決している。著書『ケチケチ贅沢主義』（プレジデント社、2013年）、翻訳『フラットシューズ宣言』（プレジデント社、2015年）。ブログ「ケチケチ贅沢日記」<https://mucco.exblog.jp/> インスタグラムアカウント mucco_kechideluxe

数あるブログの中でも、muccoさんのブログはちょっと気になる。だって「ケチケチ贅沢」で、おしゃれ＆粋な生活を楽しんでいるから。誰にでもできるメリハリ生活。失敗を恐れず果敢にトライ！muccoさんに秘訣を伺いました。

オフにはよく洋画を観たり、ジャズを聴いたり、海外のファッション誌を読んだり。もともと英語が好きだったので、翻訳の仕事に興味を持ちました。活字や言葉にして伝えたいと思ったんですね。それで翻訳の学校に通い始めたのですが、「向いてない。レベルが足りない」と痛感し、あっさり諦めました（笑）。私のスキルを必要としている会社はあると、当時おつきあいをしていた主人にアドバイスされ、外資系金融機関に就職しました。

会社ではいろいろな国籍の人が働いていました。様々な考え方があり、それをお互いが認め合うような環境でした。目的が明確で、流されることがない。そして皆、常に「次のこと」を考えていました。今は日本企業も欧米化してきていますが、外資系企業はパフォーマンス次第で収入が上下します。働くことに対して緊張感のある毎日を送る中で、自分の人生を会社や組織など他人任せするのではなく、自分自身でコントロールしたいと思うようになっていきました。

“伝えたい”を实践

“伝える”ことに興味があった私は、義理の母の介護の記録を残そうとブログを始めたのですが、書けませんでした。母は書いてほしくないだろうな、と。そこで、モノに厳しく自分に甘い、ケチと贅沢両立生活をモットーに掲げたブログ『ケチケチ贅沢日記』を綴り始めます。

“ケチケチ贅沢”という言葉は、メリハリ消費を私なりに表現したものです。約20年前、住宅ローンの繰り上げ返済に本格的に取り組んだことをきっかけに、「節約」について本気で考え始めました。

すべてを切り詰めて、暮らしを楽しめないのは虚しい。ならば将来に向けて蓄えながら、今を楽しむ方法を考えよう。価値ある

お金の使い方はどんなものだろうと。

“価値”を見極める

例えば、素敵なお洋服が安くなっています。「それ、本当に必要？」「似たようなもの、持っていない？」「着回しできる？」と考える。自分にとって価値があるかどうかを見極めると、周りにつられてお金を使うことが減ります。「ケチね～」「渋いわね～」と思われても気にしない（笑）。でも、大好きなロシアバレエの公演なら何公演でも、良い席をボンと買います。それは私にとって価値のあるコト・モノだから。お金をかけたいこと、かけなくていいことのメリハリをつければいいのです。

「価値あること」は周りの人と同じではありません。世間と自分との価値観の違いに気づくこと、その違いを知って、互いに違いを認めあうことが大切だと思っています。答えは一つではありませんし、人は変化するもの。若い頃に似合わなかった洋服が、歳を重ねて似合うこともあるように、トライしてみなければわからないことがたくさんあります。失敗しても大丈夫。失敗を繰り返すことで本当にフィットするものが見えてきます。

大好きな街ヨコハマ

結婚して横浜に住み始め、22年になります。都会なのに空が広くて、風が吹き抜けて、緑豊かなところが好きです。また、様々な文化が入り混じり、「清濁併せ呑む」という言葉がぴったり。来るもの拒まず去るもの追わず、港町らしいおおらかさ。そして、競ったりせず淡々としているところも「ヨコハマ」らしいと感じます。その欲のない雰囲気、横浜出身ではない私にはたまらなく魅力に映ります。

日本大通りから山下公園にかけて歩く時、いまだにおのぼりさん気分できめくのです。取材協力：カフェドゥラプレス

子どもの頃からおしゃれ好き！

青森県の奥津軽・五所川原市で生まれ育ちました。空気も水も空も緑もとても美しく、食べ物もおいしいところです。

母は洋和裁のプロでしたので、母の作ってくれた服を着て大きくなりました。ソーイングブックから好きなデザインを選び、生地屋さんで好みの生地を選ぶ。その時に「自分で選ぶ」という習慣が身についたのかもかもしれません。

小学5年生の頃、8つ上の兄が買ってきてくれたティーン向けファッション誌『mcSister』で、トラッドやコーディネート、配色のルールを学びました。同級生が『明星』や『平凡』などを読んでアイドルに熱を上げていた頃、私は「このデッキシューズがほしい！」「地元のデパートに売っているかな」「おこづかいで買えるかな」と考えている、おしゃれが大好きな子どもでした。

当時の『mcSister』には、高校生くらいの

キレイなモデルさんがたくさん登場していました。その中でも、小牧ユカさんやRIKACOさんは横浜出身。“横浜は美人の産地”、といつのまにか私の中に刷り込まれました。これ以降、雑誌やTVで見る横浜は、異国情緒あふれる憧れの地となったのです。

「いつかこんな街に住めたらなあ」と漠然と思っていましたが、まさか本当に住むことになるとは！実際に住んでみて美人が多い？はい、シンプルで粋な雰囲気の美人が多いと思います。

転職で人生を切り開く

職業に対する夢は特にありませんでしたが、スカートにハイヒール姿で都会のオフィスでテキパキと働いている姿を妄想していました。「背筋の伸びた自立した女性」を意識していたのかもしれません。地元の短大を卒業後、都内で服飾雑貨販売やヴィジュアルマーチャンダイザーの仕事をしました。

山形直送

初回限定
お試し価格

ジューシーでなめらか食感と
抜群の甘さが自慢!!

獲れたてプレミアム 白桃

1,780円(税別)

※1セット約1kg～1.2kg(3～7玉入り)
※1～2セットの場合は別途送料がかかります。

8月中旬以降発送予定

3セット
お買い上げで

送料無料

さらに!!
4セット
お買い上げで

白桃もう1セット
(1kg)プレゼント!!

●お申し込み・お問い合わせはコチラ

受付時間▶10:00～18:00(年中無休)

050-8885-2614

※電話が混み合い繋がりにくい場合がございますが、しばらくそのままお待ちください。
●お支払いは代金引換のみ(代引手数料350円(税別))はお客様負担にてお願い致します。●万一の配送事故による汚損・破損・品質不良などにつきましては、商品到着後1日以内にご連絡下さい。責任を持って対処させていただきます。商品の性質上、お客様のご都合による返品・交換はご容赦くださいますようお願い申し上げます。※沖縄・離島への発送は行っておりません。※お客様からいただいた個人情報、商品の発送とご連絡以外には一切使用致しません。※九州・中国エリアでは、別途送料600円がかかります。

旬の白桃を
ぜひ食べて
みてください！

超新鮮!

本日
より
1週間
獲れたて
プレミアム
白桃

山形県は日本の最高気温を数年前まで記録していた
ほど気温が高く、夜になるとぐっと気温が下がる寒暖差
の激しい地域です。この寒暖差が豊富な甘味を生み出す
ポイントなのです。一口食べると、甘い香りとあふれん
ばかりの果汁が口の中に広がります。甘いわれぬ気分！夏
にピッタリの甘美な果実を是非ご賞味ください。

寒暖の差から作り出す糖度の高さが絶品!!

株式会社フードサプライズ

〒990-0523 山形県東河江市八郷276-1